施策評価シート（ 令和4　年度の振り返り、総括）

作成日	令和5 年　04月　07日

施策 No.	30	施策名	防災体制の整備
主管課名	くらし安全課	電話番号	
関係課名	くらし安全課・社会福祉課・いきいき高齢課・商工観光課・建設課・下水道課		

1. 計画（Plan）

施策の対象	市民						
対象指標名	単位	令和2 年度実績	令和3 年度実績	令和4 年度実績	令和5 年度実績	令和6 年度実績	令和6 年度見込
人口	人	78,874	78,144	77,635			

施策の目標	災害発生時の被害を最小限に抑え、市民の生命・身体及び財産を災害から守ります。
成果指標設定の考え方及び指標の把握方法（算定式など）	・市が実施する防災避難訓練の実施回数は、実績数とする。 ・市が開催する防災リーダー養成研修の修了者数は、実績数とする。（累計） ・自然災害から安全度が高いと思っている市民の割合は、市民意向調査のデータを使用する。

成果指標名		単位	平成30年度基準値	令和2 年度	令和3 年度	令和4 年度	令和5 年度	令和6 年度	令和6 年度目標値
防災訓練の実施回数	目標値	回	2	2	2	2	2	3	3
	実績値			0	2	2			
防災リーダー養成研修修了者数(累計)	目標値	人	61	68	76	84	92	100	100
	実績値			89	102	118			
自然災害から安全度が高いと思っている市民の割合	目標値	%	77.2	78.7	80.3	81.8	83.4	85.0	85.0
	実績値			80.5	80.5	83.7			
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								
	目標値								
	実績値								

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担	・市民の役割：防災意識の高揚に努め、非常時に備えます。 ・行政の役割：安全で安心な生活を確保するため、災害時の応急活動体制の充実に努めます。災害に強いまちづくりを推進しインフラ整備に努めます。

2. 実行（Do）→個別事務事業の実施による（事務事業マネジメントシート参照）

3. 検証・評価と今後の方向性（Check&Action）

（１）施策目標達成に対する要因分析と課題（①構成事業が与えた影響、②外的要因を踏まえて検証）

１．地域づくり事業の防災座談会が6地区で開催され、140人が参加した。また、防災避難訓練について、三谷地区で土砂災害防災避難訓練、中村地区で地震を想定した防災避難訓練を実施した。この他、防災マップを座談会や防災避難訓練の際に配付して、平時から災害に対する備えをするよう市民の防災意識の高揚を図った。防災避難訓練では、避難者の受付がスムーズに行えなかった等、避難所の運営における課題が残った。

２．各区の自主防災組織の活動を活性化するため、防災リーダー養成研修を実施した。研修の修了者数は、目標を超える118名となったが、防災リーダーがいるのは62区であり、全ての区に防災リーダーを配置できるよう養成するとともに、防災リーダーの具体的な活動、取組みが必要である。

３．災害の発生する恐れがある場合や災害時に、防災情報を迅速かつ適確に伝達するため、防災行政無線のメンテナンス、防災ラジオの普及、いちごチャンネル、市公式アプリの活用を図った。また、令和４年度から、市公式ＬＩＮＥを活用し防災情報の配信を開始した。今後、全市民に漏れなく防災情報を伝達する態勢を構築する必要がある。

４．避難行動要支援者の内、個別避難計画の未策定者や現在の伝達手段では防災情報の伝達が困難な市民への対応については、自主防災組織（区）、消防団、民生委員と連携した支援体制が必要である。

５．防災対策の面から、インフラ整備を推進するため、市街地のうち、大雨で度々道路が冠水する箇所に、下水道の雨水管渠152.2ｍを敷設。また、総合運動公園の整備では、避難場所となる硬式兼軟式野球場の整備に着手した。

以上の取組の結果、「災害に対する市民の安心感」は、昨年から3.2%上昇したが、最近、市内で災害が発生していないことも要因の一つと考えられる。過去の経験や国内で発生している大規模災害の教訓を踏まえながら、更に防災体制の充実と意識の高揚を図るための取組が必要である。

（２）今後の方向性（（１）の要因分析を踏まえ、施策目標達成に向けた方針を示す）

１．地域づくり事業による防災座談会、自主防災組織による防災活動の支援、及び防災リーダーの養成を通じ防災意識の高揚を図る。
研修を修了した防災リーダーについては、地元の防災座談会や地区避難訓練に参加を促し役割を発揮できるよう育成する。

２．久下田地区防災避難訓練（11月）、水戸部地区土砂災害防災避難訓練（6月）を実施し、市民の防災意識を高める。

３．避難所の開設運営訓練を通して、職員の防災意識を高めるとともに、避難所運営能力の向上を図る。また、避難所の運営にあたっては、スムーズに対応できるよう、受付体制、避難所担当職員の班編成を見直す等の改善を行う。
また、男女共同参画社会づくりの観点から、女性の視点に立った非常時の備蓄品の調達を進めとともに、避難所の運営が女性に配慮した運営となるよう避難所担当職員を対象とした研修などを行う。

４．緊急時には、防災行政無線、防災ラジオ、真岡市公式アプリ、いちごチャンネル、緊急エリアメールにより防災情報を迅速かつ適確に伝達する。防災ラジオについては、事業所等への普及を図るため真岡工業団地総合管理協会を通じて周知を行うとともに、自治会等が主催する座談会で広報、普及を図る。また、防災ラジオの無償貸与者の見直しを行い防災ラジオの普及促進に努める。

５．避難行動要支援同意者名簿に登録された避難行動要支援者の内、個別避難計画の未策定者に対して、個別避難計画の策定を推進するため、地域づくり事業の防災座談会等において、民生委員や消防団の参加・協力を得て、地域ぐるみの支援体制の整備を進める。

６．防災対策の面から、下水道の管渠及び調整池などのインフラ整備の推進により、大雨による冠水を防止する。また、総合運動公園の整備では、引き続き避難場所となる硬式兼軟式野球場の整備に取り組む。

4. 構成事業一覧（個別事務事業一覧）

NO	総重、総新 戦拡、戦新	事務事業名	担当	成果指標			評価結果
				成果指標名	単位	令和4 年度実績	今後の方向性
1		ｺﾐｭﾆﾃｨFMによる防災力の向上事業	くらし安全課危機管理係	普及台数		384	現状維持
				整備累計台数		4832	現状維持
				整備率（整備累計/世帯数）		16.1	現状維持
2		自主防災組織の充実強化	くらし安全課危機管理係	自主防災組織のできた区の数	区	133	現状維持
				自主防災事業の実施（避難訓練等）	回	2	現状維持
				防災リーダー養成研修修了者	人	16	現状維持
3		女性防火クラブ活動支援	くらし安全課危機管理係	火災予防活動（消火訓練）	回	1	現状維持
				防災避難訓練参加	回	1	現状維持
				防火思想普及啓発活動	回	2	現状維持
4		消防団活動支援事業	くらし安全課危機管理係	消火件数	件	14	現状維持
				警戒・捜索件数	件	0	現状維持
				水防件数	件	0	現状維持
5		防災施設整備事業	くらし安全課危機管理係	消火栓設置件数	件	2	現状維持
				防火水槽設置件数	件	1	現状維持
6		避難行動要支援者対策事業	社会福祉課社会福祉係	避難行動要支援同意者名簿登録者	人	526	現状維持
				個別計画策定	人	450	現状維持
7		雨水浸水対策事業	下水道課工務係	整備面積	ha	3.84	現状維持
				管渠延長	m	152.2	現状維持
				整備率	%	61.1	現状維持
8		防災カメラ利活用事業	くらし安全課危機管理係	いちごチャンネルデータ放送閲覧数	件	133	現状維持
				真岡市公式アプリアクセス数（10/1～3/31）	件	16140	現状維持
				大雨警報・台風による待機	件	3	現状維持